

教育内容(授業科目名)	区分	科目	実施時期	担当者
情報工学概論1	学科	情報分野	1年次 通年	景山 逸治
概要	情報化に主体的に対応するための基礎的知識を習得し、クライアント環境のパソコンの操作・利用と役割・機能、情報の利用及び情報モラルに関わる基礎的知識を学習する。			
授業計画 【70H】	【到達目標】 すでに環境設定されたパソコンが利用出来る。使いやすいように設定できる。ネットワーク化された環境においての情報機器の設定や操作、ならびに情報活用の基本的な知識及び技能を習得する。あわせて「情報活用3級」合格を目指す。			
	【授業内容】 ※項目名の後にある()内の数字は、その項目に対する履修目安時間			
	《 項目 》	《 簡単な内容紹介 》		
	1. 情報表現と処理手順	(10)	情報表現形式、数値及びアルゴリズムについて。	
	2. パソコンの基礎	(10)	パソコンの装置、媒体 OSの役割、データ形式、ファイル管理	
	3. インターネットの基礎	(10)	プロトコルの理解	
	4. インターネットの利用	(10)	ブラウザ、電子メール及び設定	
	5. 情報機器の基本操作	(10)	検索、収集、伝達の理解 アプリの利用	
	6. 情報社会とコンピュータ	(8)	生活とコンピュータの関わり。各システムの役割及び問題点	
	7. 情報モラル	(10)	情報モラル及びネチケットに対する基礎的な知識	
8. 定期試験	(2)	理解度の確認		
履修に 当たっての 留意点	個々の進捗状況に差が出ないように学習プランを立案しますが、解らないことが有れば積極的に質問しましょう。			
成績評価 の方法	定期試験結果に評価点を加味するものとし、その成績の配分比重は、以下のように配分して考査するものとする。 (1)試験獲得点(全体の80%) ※ただし合格基準あり (2)評価点(全体の20%) 評価点の成績算定項目…職業教育における人間性教育を評価の観点とし、出欠状況・授業態度・提出物の出来栄え・各種小テスト等とする。			
使用教材	情報活用3級完全対策公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)			
使用機器	パソコン、視聴覚教材(プロジェクター)			
備考				
実務経験等	システム通信運用業務の経験から、クライアント環境のパソコンの操作・利用と役割・機能、情報の利用及び情報モラルに関わる基礎的知識について学習する授業展開を行っている。			
その他	担当教員の実務経験の有無	○	主な実務内容	システム通信運用業務

教育内容(授業科目名)	区分	科目	実施時期	担当者
IT活用(HTML)	学科	情報分野	1年次 通年	景山 逸治
概要	Webサイト仕組みを理解し、Webデザインの基礎知識を学び、言語であるHTMLを使用したサイト作りの基本を学ぶ。さらに、より実践的なWebページ作りのためのCSSについて学習する。			
授業計画 【35H】	【到達目標】 Web作成の流れや制作環境を理解し、Webサイトの作成、編集ができる。			
	【授業内容】 ※項目名の後にある()内の数字は、その項目に対する履修目安時間			
	《 項目 》	《 簡単な内容紹介 》		
	1. Web制作の概要	(3)	仕組み、制作手順、心構え、著作権(講義)	
	2. Webデザインの基礎	(2)	基本的なデザイン、レイアウト、配色(講義)	
	3. HTML概要と要素	(4)	簡単なWebページ作成(演習)	
	4. 画像の表示	(4)	要素理解、編集、整理(演習)	
	5. CSSの基本	(4)	基本知識、記述の基本(演習)	
	6. ボックスモデル	(4)	要素、マージン、枠線(演習)	
	7. レイアウト	(4)	レイアウトに関するプロパティ(演習)	
	8. オリジナルWeb作成	(8)	作成(課題付与)	
	9. 実技試験	(2)	2回	
	履修に 当たっての 留意点	各自指定のパソコン(教室備品)を使用しての演習授業になります。授業開始前に立ち上げておいてください。		
成績評価 の方法	実技試験による。			
使用教材	Webデザイン(実教出版)、教員配布資料			
使用機器	パソコン			
備考				
実務経験等	システム通信運用業務の経験から、Web作成の流れや制作環境を理解し、Webサイトの作成、編集ができる。を目標に授業展開を行っている。			
その他	担当教員の 実務経験の有無	○	主な実務内容	システム通信運用業務

教育内容(授業科目名)	区分	科目	実施時期	担当者
情報工学概論2	学科	情報分野	2年次 通年	景山 逸治
概要	情報化の進展にともない、情報化社会の仕組みを理解するとともに、企業等において主体的に業務を推進できる基礎能力を学習する。			
授業計画 【70H】	【到達目標】 各種機器の役割と機能、環境設定の基礎知識、ソフトウェアの種類と機能、インターネット、情報モラル及び情報セキュリティの基礎知識を習得する。あわせて「情報活用2級」合格を目指す。			
	【授業内容】 ※項目名の後にある()内の数字は、その項目に対する履修目安時間			
	《 項目 》	《 簡単な内容紹介 》		
	1. 経営戦略とシステム戦略	(9)	企業活動、企業法務、経営マネジメント及びシステム戦略	
	2. プロジェクトマネジメント	(9)	システム開発、プロジェクト及びサービスの各マネジメント	
	3. 情報と情報の利用	(9)	情報表現とデータ構造、情報利用、問題解決処理手順	
	4. パソコンを利用したシステム	(9)	コンピュータの動作原理、OS、関連機器とインターフェイス	
	5. ネットワークの利用	(9)	インターネットの基礎、ネットワークの利用	
	6. アプリケーションの利用と活用	(9)	アプリケーションソフトの基礎知識、表計算を利用した問題解決	
	7. 情報ネットワーク社会への対応	(8)	社会におけるコンピュータの利用、情報化社会の問題点	
	8. 情報モラル、情報セキュリティ	(6)	情報モラル、ネットワークセキュリティ、コンピュータセキュリティ	
	9. 定期試験	(2)	理解度の確認	
	履修に 当たっての 留意点	情報ネットワーク社会に対応するため、最新の情報通信技術に興味を持ちましょう。また、それらの情報を収集しましょう。		
成績評価 の方法	定期試験結果に評価点を加味するものとし、その成績の配分比重は、以下のように配分して考査するものとする。 (1)試験獲得点(全体の80%) ※ただし合格基準あり (2)評価点(全体の20%) 評価点の成績算定項目…職業教育における人間性教育を評価の観点とし、出欠状況・授業態度・提出物の出来栄え・各種小テスト等とする。			
使用教材	情報活用2・1級完全対策公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)			
使用機器	パソコン、視聴覚教材(プロジェクター)			
備考				
実務経験等	システム通信運用業務の経験から、各種機器の役割と機能、環境設定の基礎知識、ソフトウェアの種類と機能、インターネット、情報モラル及び情報セキュリティの基礎知識を習得する。あわせて「情報活用2級」合格を目指す。を目標に授業展開を行っている。			
その他	担当教員の実務経験の有無	○	主な実務内容	システム通信運用業務